

第16回日韓青少年冬季スポーツ交流 実施要項

＝スポーツ庁国庫補助事業＝ ＜日韓共同未来プロジェクト事業＞

1. 目的

2002 年サッカーワールドカップ大会の日韓両国の共同開催決定を機に、幅広い年齢層を対象に各種のスポーツ交流を実施することによって、日韓両国の親善と友好をより一層深め、更には両国のスポーツの振興を図ることを目的とする。

2. 交流方式

日韓両国の選手団員が互いの国を訪問し、様々な交流を行う相互交流方式。

3. 主催

公益財団法人 日本体育協会

4. 共催

公益財団法人 長野県体育協会

公益財団法人 全日本スキー連盟

公益財団法人 日本アイスホッケー連盟

公益財団法人 日本中学校体育連盟

公益財団法人 日本スケート連盟

公益社団法人 日本カーリング協会

5. 後援

長野県教育委員会、長野市、軽井沢町教育委員会、飯山市

6. 内容

〔日本選手団派遣〕

(ア) 派遣対象 (159 名)

- | | |
|-------------|-------|
| 1) 選手 (中学生) | 130 名 |
| 2) 指導者 | 22 名 |
| 3) 本部役員 | 7 名 |

(イ) 派遣期間

平成 30 年 1 月 8 日 (月・祝) ～1 月 13 日 (土)

※但し、旅行手配の都合により前泊を行うことがある。

(ウ) 競技

4 競技 6 種目 (各競技別の人数構成は以下のとおり)

区分	長野県						本部 役員	合計
	スキー		スケート		アイスホッケー	カーリング		
種目	アルペン	クロスカントリー	スピード	ショートトラック	—	—		
中学校(男子)	12	12	15	10	22	5	—	76
中学校(女子)	12	12	15	10	—	5	—	54
指導者	3	3	5	3	5	3	—	22
本部役員	—	—	—	—	—	—	7	7
合計	27	27	35	23	27	13	7	159

(エ) 会場

韓国・ソウル特別市及び江原道

(オ) 経費

- (1) 参加料：1人1万円
- (2) 韓国内での滞在費は大韓体育会が負担する。
- (3) 以下の経費は日本体育協会が負担する。
 - ・集合、離散に関わる国内交通費
 - ・前泊に伴う宿泊費、食事代、施設利用料（日程上、必要が生じた場合）
 - ・韓国渡航に係る国際航空券代（燃油サーチャージ等諸経費含む）
 - ・海外旅行保険の加入に係る経費
 - ・日本選手団ユニフォーム（競技用ユニフォームは各自手配すること）
- (4) 以下の経費は参加者が負担する。
 - ・自宅から長野県体育協会が定める集合場所、あるいは自宅から本会が指定する駅までの移動に係る経費
 - ・パスポートの取得に関する経費
 - ・個人に係る諸経費（電話代、ルームサービス代等）

(カ) 参加資格

<選手>

- (1) 長野県体育協会または日本スケート連盟が推薦する者
- (2) 平成29年4月1日現在、中学生の者
- (3) 心身強健で協調性のある者。
- (4) 地域、県内、県外の交流経験がある者
- (5) 日本国籍を有する者

<指導者>

- (1) 長野県体育協会または日本スケート連盟が推薦する者
- (2) 年齢は40歳程度までの者
- (3) 国際交流において日本代表としてふさわしい人格・見識を有する者
- (4) 心身強健で協調性のある者
- (5) 日本国籍を有する者
- (6) 本会公認スポーツ指導者資格を有する者が望ましい。

(キ) 選考

長野県体育協会または日本スケート連盟からの推薦があり、本会が認める者。

[韓国選手団受入]

(ア) 受入対象（159名）

- | | |
|------------|------|
| 1) 選手（中等部） | 130名 |
| 2) 指導者 | 22名 |
| 3) 本部役員 | 7名 |

(イ) 期間

平成30年2月12日（月・祝）～2月17日（土）

(ウ) 競技

4競技6種目（各競技別の人数構成は以下のとおり）

区分	長野県						本部 役員	合計
競技	スキー		スケート		アイスホッケー	カーリング		
種目	アルペン	クロスカントリー	スピード	ショートトラック	—	—		
中等部(男子)	12	12	15	10	22	5	—	76
中等部(女子)	12	12	15	10	—	5	—	54
指導者	3	3	5	3	5	3	—	22
本部役員	—	—	—	—	—	—	7	7
合計	27	27	35	23	27	13	7	159

(エ) 開催地 雪上競技（スキー）、氷上競技（スケート、アイスホッケー、カーリング）：長野県

(オ) 経費 日本体育協会負担